別紙2 事務事業評価(事後評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)			商工労働観光課(商工振興担当)						
事務事	事務事業名		根室産業フェスティバル負担事業			事業番号	10175		
重点:	重点プロジェクト 口該当		■非該当	評価時期	□中間 ■事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
ル水件水との民産	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	関係団体、事業所、市民				
v.) sor	対象者の今後の予想	同程度				
活動内容	地場金口の傾向 作用を回てしまし、担党地域の奴文の江州ルレマとナスコレナロがに、地域は					
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	地場産品の奨励・振興を図るとともに、根室地域の経済の活性化に寄与することを目的に、地域住 民の協力をもって根室産業フェスティバルを開催する。					
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)		とし、協力しながら地場産品の販売等を行うことにより、市民の地産者への根室産品PRに寄与するころが期待される。				

3 事務事業の現状

	3 事務事業の現状								
	活動指標名		実績値					目標値	目標値
			H28	H29	H30	R1	R2	(R2)	(R7)
1	根室産業フェスティバルの来場者数	5,500人	-	_	5,500人	4,000人	0人	6,000人	6,000人
2									
3									
4									
				R2予算		R2決算		R3予算	
	事業費(=下記内訳計)			1,000		0			
	国道支出金								
内	地方債								
訳	訳(その他)				1,000		0		
	一般財源			0					
人員	(人工)								
職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)				0		0			
総事業費 (=事業費+職員人件費)					1,000	0			
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					0		0		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

(争削評価にかかけた味趣	12 20. CR5//
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったが、開始から30回以上を抱える市内の定番イベントとして定着しており、市民や他市町村からのニーズも高いため継続して実施していく。
5 事務事業の評価	
	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. ぴついていますか	市民の地産地消や、他市町村からの来場者に対し、一定程度根室産品のPRに結び付いている。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が取り組むことは難しい。
	□ある ■一部ある □ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	市内の定番イベントとして定着しているが、より多くの市民や他市町村からの来訪者を増やすために は、事業周知についての拡充が必要。
	□ある ■一部ある □ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	事業規模や内容の見直しによりコスト削減は可能。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	イベント開催支援関連事業との統合を図る。
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	根室産業フェスティバルは各出展団体の協賛金で運営されている。
6 事務事業の今後の方[<u>向性</u>
今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 ■統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

別紙2 事務事業評価(事後評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)		商工労働観光課(観光振興担当)						
事務事業名		通年型体験観光事業者支援事業			事業番号	12570		
重点プロジェクト	■該当	□非該当	評価時期	□中間 ■事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9 自然・歴史・食観光の振興
心水や木との民建	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	観光客				
v.1 sar	対象者の今後の予想 観光客の増加が見込まれる。					
活動内容	ニューの強化・充実」に取り組む事					
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	・支援対象は人件費で、補助率10/10以内、250万円/人を上限。(1事業者最大500万円、3年間限り) ・実施事業 : 落石ネイチャークルーズ、オランダ煎餅手焼き体験、酪農体験					
意図	当該事業の推進により年間を通し	じて観光客の増加が見込まれ、誘致促進・交流人口の拡大に期				
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	できる。					

3 事務事業の現状

3 事務事業の現状 実績値 実績値									
	活動指標名				目標値	目標値			
			H28	H29	H30	R1	R2	(R2)	(R7)
1	新規体験メニュー数	2件	0件	0件	1件	0件	0件	2件	-
2	事業者支援補助件数	2件	2件	2件	3件	3件	3件	3件	3件
3									
4									
古光典 (一てむみむき)				R2予算		R2決算		R3予算	
	事業費(=下記内訳計)				12,500	9,839			
	国道支出金								
内 地方債									
訳	訳 その他				12,500 9,83		9,839		
一般財源									
人員	(人工)			0.25		0.25			
職員人件費 (=人員(人工)× 7,673 千円)				1,918		1,918			
総事業費 (=事業費+職員人件費)				14,418		11,757			
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				_		_			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				4,806 3,919					

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

――(事削評価にかかけた課題	
見直し状況	□検討中 ■見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	事業者に対する補助上限及び補助期間を定め、将来的に補助事業者単独での事業確立に繋げる ことを目的とし制度改正した。
今後の動向・市民ニーズなど	国内外の観光客のニーズが体験型の観光へ移行しており、体験素材を求める声は多い。
5 事務事業の評価	
5 争物争未の許価	■ 4+15 ~! \ 7
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 びついていますか	観光客のニーズに適切に対応しており、誘客促進つながる事業であることから、有効に結びついて いる。
	■可能 □一部可能 □不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財源の確保ができれば他団体等での実施も可能である。
	□ある □一部ある ■ない
ウ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	現時点ではない。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	現時点ではない。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	現時点ではない。
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	上限を超えた部分については、負担していただいている。
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	□現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 ■廃止 □完了